

常磐高等学校 平成25年度 学校重点目標並びに自己評価表

(計画段階 ・ **実施段階**)

学 校 運 営 計 画				評価(3月)		
学校運営方針	本校では、知育、徳育、体育の三位一体を基盤として、至誠の心を育み、自由清新な気風で、心豊かな行動力のある社会有為の人材を養成する。			B		
昨年度の成果と課題	本 年 度 重 点 目 標	具 体 的 目 標				
徐々に生徒の授業規律が確立され、教員の教科指導力も向上して大学AO・推薦入試で結果を出すことができた。センター・二次私大対策を充実させて、より高い進路を実現させる。生徒の問題行動や進路変更は減少傾向であるが、継続して粘り強く指導する。特に生徒の家庭学習習慣の定着が急務である。また、社会生活で挨拶と清掃の大切さを継続的に指導する。部活動入部率を向上させ、学校行事を生徒主体で実施できるようにする。	基本的生活習慣を確立させ、モラル・マナーの向上に努める。	時間を厳守させるとともに、挨拶の励行を図る。 校則を含めた社会規範を遵守させる。				
	授業規律を高め、生徒の学習意識を向上させ、基礎学力の充実に努める。	教育内容を研究し、個に応じた「わかる授業・進路実現ができる授業」を実践する。 自主的な学習習慣を確立させる。				
	計画的・組織的な進路指導を実践し、希望進路の実現に努める。	多様化する進路選択に適切な指導を行う。 1ランク上の進路目標を設定し、実現に努める。				
	安全で快適な教育環境の整備に努める。	公共物を大切にすることを向上させる。 健康で清潔な教育環境を保持する。				
評価項目	具 体 的 目 標	具 体 的 方 策	評価(3月)		次年度の主な課題	
学習指導	教科指導力の向上	・教員相互で授業巡回を実施して、チャイム席の厳守や私語、居眠り厳禁などの授業規律を確立する。 ・大学入試問題を研究して、生徒に興味を持たせる授業内容を工夫する。	B	B	B	授業規律の確立を組織的に取り組み、予習・授業・復習の学習サイクルを定着させ段階的な学力の向上に努める。特に家庭学習(課題学習の点検作業)の習慣を確立させる。
	学習意欲の向上	・出席率99%、出席皆勤者50%以上を目指す。 ・生徒に宿題を課してノート添削を日々継続し、生徒の家庭学習習慣を確立させる。	A B			
進路指導	進路学習の充実	・年5回以上の個人面談を実施して、生徒一人ひとりのきめ細かい進路希望の把握に努める。 ・各種資格、検定の上級取得を目指す。日本情報処理検定協会会長賞受賞数の県内1位を継続する。	A A	A	B	大学AO・推薦入試合格実績を踏襲するとともに第3学年の更なる学力伸長を図りセンター・国公立大学二次試験、難関私大入試対策を充実させ、早期に実績を向上させる。
	希望進路の実現	・難関国立10大学を含む国公立大学20人、西南大10人、福岡大20人以上合格させる。 ・大学センター試験で各教科・科目の校内平均点が全国平均点を上回るようにする。	C C			
生徒指導	規範意識の向上	・自転車運転や携帯電話使用などのマナー指導を徹底して、登下校時のモラルを向上させる。 ・全校一体で挨拶運動を展開するとともに身の回りの整理整頓にも努めて全員清掃を徹底する。	B B	B	B	学年単位での登下校指導を継続実施し、生徒の問題行動未然防止や社会規範遵守に努める。また部活動においてチームスポーツ種目で早期に実績を出す。
	生徒会活動の活性化	・70%以上の校友会入部率目指し、それぞれの部活で全国大会、九州大会出場を目指す。 ・学校行事を生徒主体の運営で実施して、協調性や積極性を向上させる。	C A			
その他	人権・同和教育の充実	・年2回の特設授業の充実を図るとともに、全教育活動を通して人権教育を一層充実させる。 ・教員と保護者の連携を密にして、いじめ防止を徹底するとともに進路変更生徒の減少に努める。	A B	B	B	定期的な生活アンケート等の実施で、生徒の悩み等を早期に発見、対処して、進路変更生徒を減少させる。また地域の信頼による幅広い生徒層の確保に努める。
	広報活動の充実	・中学校や学習塾を定期的に訪問し、本校に対する理解をさらに深めてもらう。 ・受験生を増加させ、280名の入学者を目指す。	A B			